

平成 29 年度 第3回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会
議 事 録

日時：平成 30 年 3 月 27 日（火）

10：30～11：10

場所：飛島村中央公民館 3 階

視聴覚室

1. 開 会

○事務局

ただいまから平成 29 年度 第3回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせていただきます。

会議に先立ちまして、当法定協議会会長の飛島村長から開会のごあいさつを申し上げます。

○久野会長（飛島村長）

【開会挨拶】

こんにちは。今日は、大変お忙しいところ、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会にご出席賜り厚くお礼申し上げます。

格別のご指導とご鞭撻を賜っており委員の皆様には、重ねてお礼申し上げます。

今日は、飛島公共交通バスの利用実績や海南病院通院支援タクシーの改正時刻表の報告と、平成 29 年度の法定協議会収支補正予算及び来年度の事業計画と収支予算について協議させていただきます。

多数の皆様にご利用頂けるよう、常に事業の見直し、また、改善を行っていくことが大切であると思っております。

皆様の専門性のご経験をもとに、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

○事務局

当協議会は、協議会会議運営規程第 5 条の規定に基づき会議録を開示させていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、今日は、定数の過半数を超える委員のご出席を頂いておりますので、協議会設置要綱第 7 条第 2 項に定める会議としての成立要件を満たしておりますことを申し添えます。

○座長（伊豆原教授）

おはようございます。良い気候になってきました。桜は昨日岐阜で満開、名古屋は今日満開と聞いています。こうした季節になると外出したいという気持ちになります。

公共交通を使って外出して頂く時期になりました。村長のお話にあったように、少しでも改善を行っていくことが大切だということで、皆様のご意見を頂戴して改善を進めたいと思います。

それでは、議事に入る前に、議事録署名人について、三重交通(株)桑名営業所長の黒様と名古屋近鉄タクシー(株)蟹江営業所長水谷様を選任させていただく。

本日の議事としては、報告事項 2 件、協議事項 2 件となっています。

2. 報告事項

(1) 飛島公共交通バス利用実績について(資料1)

○座長(伊豆原教授)

それでは、「2. 報告事項」の「(1) 飛島公共交通バス利用実績」について、事務局からの報告をお願いします。

○事務局

資料1 説明

○座長(伊豆原教授)

事務局の報告が終わりました。これについて、何かご意見、ご質問などございますか。よろしいですか。

○森委員代理(中部運輸局愛知運輸支局)

海南病院通院支援タクシーは大きく利用者が増えています。タクシーの確保について、予約が重なりキャンセルはありませんか。事業者の支障が起きていませんか。

○事務局

今のところ、そうした報告は受けておりません。

○大西委員(愛知県港湾警察署)

海南病院通院支援タクシーが大きく利用が増えたのはなぜですか。

○事務局

増便したことと、老人クラブに対する周知活動を行っているので、そうした成果で増えたのではないかと。

○座長(伊豆原教授)

次に、名港線については、高速道路を利用するので、全て着座することになる。利用状況から、ほぼ満席のような気がします。もう少し考えなければいけないのか、利用者から何か指摘が無いのか。

○事務局

アンケート調査で意見はいただいております。指摘の点について懸念はしています。来年度、バス検討委員会で検討をしていかなければいけないと思っている。

○座長(伊豆原教授)

これ以上は乗せられないので検討を進めて欲しいと思う。

次に蟹江線について、朝の便に利用が集中するため、分散化のためのダイヤの検討をしてきた。分散利用されてきた形になり緩和できたのではないかと。

○事務局

アンケート調査での指摘にもあり、朝の便は込み合っている。我々も乗車して混雑状況を確認した。この点もバス検討委員会で報告し検討していきたいと思う。

○座長（伊豆原教授）

海南病院支援タクシーについて次の報告があるので、飛島公共交通バスの利用状況について確認したとして次に進んでよろしいか。

特にご意見ありませんので、確認したとして、次の報告に移ります。

（２）海南病院通院支援タクシーの改正時刻表について（資料２）

○座長（伊豆原教授）

それでは、「２．報告事項」の「（２）海南病院通院支援タクシーの改正時刻表」について事務局からの報告をお願いします。

○事務局

資料２ 説明

資料にはありませんが、新政公園のバス停移設もあわせて実施したことを報告させていただきます。

○座長（伊豆原教授）

事務局の報告が終わりました。これについて、何かご意見、ご質問などございますか。
近鉄タクシーの運転手から何か聞いていないか。

○水谷委員（名古屋近鉄タクシー）

特にありません。順調に仕事をさせていただいています。

○座長（伊豆原教授）

時刻を変更しました。うまく周知ができていますか。

○事務局

今のところ特に住民からの指摘はありません。ご説明した通り広報による周知など対応しています。

○座長（伊豆原教授）

増便しサービスが向上したので、利用につながるのではないかと。委員の皆さんには、周囲の皆さんにお伝えいただき、利用を促して頂ければと思う。

ご質問がなければご確認いただいたとして次に進めさせて頂いてよろしいか。

特に無いようなので、確認させていただいたとして次に進みます。

3. 議 事

- 議案第 1 号 平成 29 年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会収支補正予算について

- 座長（伊豆原教授）

それでは、「3. 議案」に入ります。議案第 1 号「平成 29 年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会収支補正予算」について、事務局からの報告をお願いします。

- 事務局

資料 説明

- 座長（伊豆原教授）

説明が終わりました。これについてご意見ご質問ございませんか。
国の補助金の確定による補正ということでしょうか。

- 事務局

そうです。村からの負担金で入れていたものを補助金が確定により補正したということです。

- 座長（伊豆原教授）

これについて何かありますか。よろしいですか。
なければ、全員のご了承をいただいたとしてよろしいか。

< 異議なし >

- 座長（伊豆原教授）

ご異議無いようなので、全員の承認をいただいたとして進めさせて頂く。

- 議案第 2 号 平成 30 年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会
事業計画及び収支予算について

- 座長（伊豆原教授）

それでは、議案第 2 号「平成 30 年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画及び収支予算」について、事務局からの報告をお願いします。

- 事務局

資料 説明

- 座長（伊豆原教授）

説明が終わりました。これについてご意見ご質問ございませんか。

- 石屋代理（愛知県振興部交通対策課）

バスロケーションシステムの認知度が低いということについて、システムログなどはとっていないか。

バスの広告事業がありますが予算にあらわれていないが具体的な数字を教えて欲しい。

○事務局

アンケートで認知度が低いことがわかっています。ログはとっていませんので、具体的にはわかりません。

広告収入は年間約 14 万円程度の費用の収入があります。

○座長（伊豆原教授）

事業計画で利用促進を行っています。駐輪場を整備していますが、まだ利用面で余裕がありそうな感じもする。若い方が中心になると思いますが、うまく使っていただくために、駐輪場の紹介もしたらどうか。

交通網形成計画は 31 年度まで。説明のなかで、計画の更新を念頭に、検討作業のリストアップを行うなどの話があった。具体的に実施することを考えていれば紹介ください。

データなどの検討も 1 年でやりきるのは大変なので、利用者アンケートの検討など、調査検討の予算が盛られていないので、事務局の作業となっているのか。

○事務局

アンケートの実施は考えていないが検討は進めたい。

先ほどのバスロケーションシステムの認知度の補足をさせていただく。蟹江線の利用者において知っているとの回答は 33% という結果だった。

○座長（伊豆原教授）

バスロケーションシステムは、スマホを利用される方は意識が高いが、そうでない人においては電話で役場に問い合わせをすれば回答していただきましたよね。

○事務局

対応しています。

○座長（伊豆原教授）

そうした対応も紹介いただいたら良いかと思います。

その他、検討すべきことなどありましたら、ご意見を頂戴できればと思います。よろしいですか。

発言も無いようなので、平成 30 年度の事業計画について承認いただいたということでよろしいか。

< 異議なし >

○座長（伊豆原教授）

ご異議無いようなので、全員の承認をいただいたとして次の議事に移ります。

4. その他

○座長（伊豆原教授）

以上で予定されました議事は終了いたしました。その他の報告をお願いします。

○事務局

ありがとうございました。前回の会議で、交通網形成計画の中間評価を報告させていただいた再、アンケート結果で乗車できなかった人が一人いるが満車状態ではないというような表現を用いていました。これに対して委員から、満車状態ではないという表現はいかがなものかとの指摘をいただきましたので、この部分を高い乗車率となっているに改めさせていただきます。

2点目の報告として、次回の会議は6月末頃に開催する予定です。詳細はおってご連絡を行います。

○座長（伊豆原教授）

他にありますか。第三者評価委員会が国で行われました。2月中旬です。第三者の先生から指摘をいただいている、網形成計画の作成にあたり、利用促進について、乗り方教室、産業まつりでのPRなどの事実報告があるが、結果どうなったか効果について確認することが重要ではないかという指摘がありました。また、満足度による目標設定を行っているが、満足度はわかりにくい。具体的な中身まで調べてもらうことが重要、不満点の抽出から改善していく方向にすべきという指摘がありました。

例えば、蟹江線は広域幹線なので複数の自治体にまたがるため、広域利用について少し調べ、役割を明確にしていくことが重要ではないか、交通圏という見方で検討をすすめることが重要という指摘もあります。次期計画の策定時には、そうした視点を重視して、計画し、実行する施策について、議論ができればと思う。公的資金の投入がある事業なので、シビアな評価、確認も必要だと思う。

次に、免許返納の話について。免許返納は増えていると聞いている。受け皿となる公共交通のサービスがないと、現実問題として返納できない。受け皿整備が重要だと思う。警察署から情報提供を頂きながら検討を進めて頂ければと思う。

今年の第三者評価委員会は飛島村は評価対象にはらなかったが、今年の委員会ではそうした指摘があったことを紹介させていただく。

○柿内代理（名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会）

どんどん臨海部での需要が増えればよいと思っている。そのためには、例えば雨風をしのげる環境整備も期待したいという声もあった。

○座長（伊豆原教授）

他によろしいか。

特にご意見等ありませんので、私の進行は以上とします。

5. 閉 会

○事務局

特に無いようですので、以上で平成 29 年度第 3 回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。本日はありがとうございました。

以上

会議の経過を記載して、その相違ないことを証明するため、ここに署名する。

会長 久 野 時 男

座長 伊 豆 原 浩 二

委員 小黒 佳剛

委員 水谷 隆